

令和8年度福井県立武生商工高等学校スクールプラン

※校訓

創造 実践 共栄

※教育目標・教育方針

教育目標

- ・主体的に学び、様々な課題を解決していくことのできる、豊かな創造力と個性を持つ生徒を育成する。
- ・産業活動に関する知識と技能を身につけ、地域社会に貢献できる生徒を育成する。
- ・豊かな心と健やかなからだを持ち、多様な他者と融和協調しながら共栄をめざす生徒を育成する。

教育方針

地域を支える心ある人財の育成 - ビジネスの心がわかるエンジニア・ものづくりの心がわかるビジネスパーソンの育成 -

学校業務改善のための取組

- ・データ等の共有などDX化を推進し、事務量を削減するなど、迅速で的確な校務処理に努める。
- ・教育業務支援員の活用に努める。
- ・適切な休暇の取得に努める。

人権教育の推進

学校におけるすべての教育活動を通じて、人権や人権擁護に関する基本的な知識を理解し身につけるとともに、すべての人々の人権が尊重され、相互に共存しうる平和で豊かな社会の実現を目指す生徒を育成する。

重点目標

1 教育課程・学習支援
(共通項目)

教務部

- ①基礎学力を確実に定着させるとともに、多様な人々と協働して目標を達成する力を育む教育活動を支援する。
- ② 地域の未来を担うために必要な実践的な知識や技術を主体的に身につけられるための教育活動を支援する。
- ③課題研究を両学科融合で行い、工業と商業それぞれの専門性を融合した教育活動を支援する。

2 生徒支援
(共通項目)

生徒支援部

- ①規範意識を向上させ、基本的な生活習慣とマナーを身につけさせる。
- ②他人を尊重し、多様な価値観の中で協働できる力を向上させる。
- ③生徒会を中心に、生徒が主体的に行動する態度を育成する。

3 進路支援
(共通項目)

進路支援部

- ①高校のキャリア教育を推進し、主体的に学ぶ態度と社会で生きる能力の形成を支援し、進路実現を図る。
- ②生徒個々に応じた進路情報を提供し、的確な進路活動を支援する。

4 保健管理
(独自項目)

保健部

- ①自他の心身の健康や生活習慣を管理する能力を高められるよう支援する。
- ②生徒の環境美化に対する意識を高めるよう支援する。

5 図書支援・保護者との連携
(独自項目)

図書庶務部

- ①生徒の知的好奇心を育てるとともに、親しみやすい図書室を心がけ、図書の主体的利用を支援する。
- ②PTAと連携し、保護者とともに学校行事を活かして生徒の成長を促す。

6 その他
(独自項目)

工業科

- ①基礎・基本、安全を重視し、実習・課題研究・就業体験・現場見学を通じ、工業技術者として必要な知識、技術を身につけ、実践できる人材となるよう支援する。
- ②福井フューチャーマイスター事業を活用し、様々な資格取得に向けて主体的に学習に取り組むよう支援する。
- ③3年次の課題研究では、2年次の課題研究の継続や、他科との連携、企業等との協働した取組を積極的に行い、生徒が主体的に探究するよう支援する。

7 その他
(独自項目)

商業科

- ①資格取得を奨励することにより、生徒の学習意欲を向上させ、専門性を生かした進路実現を図る。
- ②授業におけるグループワークや探究活動において、他のメンバーと協働的に取り組む力を身につける。武生商工デパート(販売実習)では、その運営を通して、ビジネスの知識や技術を深めるとともに、地域社会や工業学科と連携しながら経営活動を遂行していく能力・態度を養う。

具体的な取組み

- a)主体的・対話的で深い学びができる授業実践を進め、生徒が自ら考え「課題解決を図る力」の育成を支援する。
<目標>
・高校生学習状況調査による授業や学習に関する満足度の目標指数70%以上。
- b)授業や実習では、外部講師や企業の専門家を招くなどして、実践的な知識・技能の習得を図るとともに、他者と意見を交わしながら学びを深める活動を支援する。
<目標>高校生学習状況調査による主体的に学習に取り組めた生徒の目標指数70%以上。
- c)課題研究や学校行事、地域・企業・行政との連携した学習活動を通して、生徒が活躍し、大きく成長する姿を広く発信する。
<目標>
・ホームページやInstagram、学校新聞による情報更新をトータルで年間60回以上。

具体的な取組み

- a)家庭との連絡を密にし、基本的な生活習慣の確立と、社会で求められるスキルの習得を図る。
<目標>
・全校生徒数における年間総遅刻回数が、一人あたり1未満となることを目指す。
・交通安全指導を徹底し、ルールとマナーの習得を図ることで交通事故によるけが0を目指す。
・高校生として評価される行動や身だしなみについて、自ら省みる態度を育てる。
- b)多様な価値観を尊重し、地域社会に貢献できる態度を育成する。
<目標>
・自他の人権を尊重し命の大切さを考える環境を整え、緊急時には速やかに対応できる態勢を維持する。
・学校内外の環境整備に積極的に乗り組み、地域社会の未来を共に考え行動できる力を身につける。
- c)生徒会を中心に生徒が自ら考え行動する態度を育成する。
<目標>
・登校時の挨拶運動、地域でのボランティア活動など生徒会を中心とした積極的な活動を推進する。
・自主的な行動により、校内の諸活動を活性化させる。
・生徒自ら校則について考え、見直す態度を育成する。
・すべての生徒が自ら積極的に取り組む学校行事のあり方を目指す。

具体的な取組み

- a)校内のキャリア教育を基盤に、地域と連携・協働し、生徒のキャリアデザインを支援し、その充実化を図る。
<目標>
・生徒一人ひとりの進路実現に向け、行事や相談体制を充実させ、学校評価アンケートの進路項目で90%以上を目標とする。
- b)地域企業や学校と連携し、企業説明会や職業講話、学校説明会を通して進路動向を理解し、最新で適切な進路情報を提供する。
<目標>
・進路情報を生徒の進路活動の充実化に生かし、学校生活全般への意欲向上を図り、90%以上の評価を目標とする。

具体的な取組み

- a)自分の健康に関心を持ち自己管理をするとともに、他者の健康にも配慮できる生徒を育成し、感染症流行期には流行状況について把握し、予防策を身に付け行動できるよう支援する。
<目標>
・感染症を予防するための行動が取れた生徒の割合90%以上。
- b)教室や学校施設の清掃を徹底し衛生的な学習環境を保つことができる生徒、環境保護の意識を持ってゴミの分別に取り組める生徒を育成する。
<目標>
・しっかり清掃に取り組み、ゴミの分別や身の回りの整理整頓に取り組める生徒の割合80%以上。

具体的な取組み

- a)朝読書のための学級文庫づくりや図書だよりなどの広報を通じて、図書室利用の充実にも努める。
<目標>
・朝読書において、静かに読書に取り組んでいる生徒の割合が80%以上を目指す。
- b)行事案内やPTA広報紙・学校メールを活用し、行事への参加を増やす。
<目標>
・PTA関連行事への参加者を、各クラスから複数名出るように配慮する。
・高P連主催の発表会や研修会に参加して他の学校の取組や職員とPTAの関連について学習する。

具体的な取組み

- a) 基礎・基本、安全教育に重きを置き、実習・課題研究・就業体験・現場見学を通じ、工業技術者として必要な知識や技術・技能を主体的に身につけるように支援する。
<目標>
・学校評価アンケートの基礎・安全等の意識している割合80%を目指す。
- b) 福井フューチャーマイスター事業を活用し、様々な国家資格に積極的に挑戦し、合格を目指して主体的に学習に取り組むよう支援する。
<目標>
・工業学科共通で受験する基本となる資格の合格率60%以上。
- c)3年次の課題研究では、2年次の課題研究の継続や、他科との連携、企業等との協働した取組を積極的に行い、生徒が主体的に探究するよう支援する。
<目標>
・課題研究では、地域の企業等と連携しながら地域貢献を推進する。課題研究を通して主体的に活動できる力や社会人として必要なコミュニケーション力、プレゼンテーション力の向上を目指す。

具体的な取組み

- a)課題・補習などを併せた適切な進捗計画により、各商業科目における目標資格級の取得率向上に取り組む。併せて、福井フューチャーマイスターの認定を目指す。
<目標>
・資格取得について主体的に取り組めた割合80%以上を目指す。
- b)授業におけるグループワークや探究活動において、他のメンバーと協働的に取り組めるよう支援する。商工デパートでは地域に根差した販売実習を実践し、商工商学科による協働的な取組を実践する。
<目標>
・授業におけるグループワークや探究活動において、他のメンバーと協働的に取り組むことができた割合80%以上。